

HB-style




ENJOY! 研究ライフ!! 金 聖憲

Photo Album

CORPES09 @ Switzerland

2010
Jan. | vol. 11

 光物性研究室



谷口研の熱い男

Enjoy! 研究ライフ!!



低次元ナノスケールの面白さ

金 聖憲

韓国と日本

韓国と言えば何を思い出しますか？キムチ？チマチョゴリ？間違いではありませんが、それだけではありません。韓国にはもっともっと紹介したい場所や食べ物があります。例えば、朝鮮王朝 (李氏朝鮮) 時代の王宮である景福宮 (キョンボックン)。世界遺産に登録されています。韓国では 14 世紀から 19 世紀まで王が政治を主導し、宮廷である景福宮に執務



室が設置されました。最近では、伝統ある韓国文化の保存として、宮中行事を再現するイベントが行われています。華麗な伝統衣装に身を包んだ国王や王妃が行進したり、衛兵の交代する様子など間近で見たり、宮中料理も食べることができます。でも、食べ物で僕が一番オススメするのは、キムチチゲです。キムチ、豚肉、豆腐などが入っていて簡単に作れます。ピリッとした辛さでいつも元気付けられます。特に体がだるいときに食べると元気が出るのでぜひ一度食べてみて下さい。

低次元金属の面白さ

世の中には不思議が一杯です。棒磁石を二つに割ると、二本とも S 極と N 極に分かれます。それを繰り返し行い原子 1 個になった場合、どのような性質を示すのだろうか。金属原子が一行に整列した場合の電気や熱伝導はどうなるのだろうか。三次元物質と比べて応用に向いているのだろうか。いつもそんなことを考えています。

現在は、操作トンネル電子顕微鏡 (STM) という装置を用いて低次元金属の物性測定を行っています。Si 表面上に金属を蒸着することで形成される二次元平面や一次元チェーン、アイランド構造、格子欠陥で見られる電子の振る舞いを



詳しく観察しています。とても面白いです。なぜかと言うと、毎日が発見の連続で、早く STM 像が見たいってワクワクします (笑)。予想外の構造が観測されて悩むこともあります。予測不能って一番楽しいと思います。一瞬一瞬を全力で取り組み、どうしてこのようになったか考える。実験の醍醐味だと思います。僕の研究熱はメラメラ燃えています。光物性研究室で学んだことを糧にして、今後も研究を続けていこうと思います。



僕の思い出、スイス♪
発表もした、観光もした、いっぱい
食べた、楽しかった♪



2010 年 1 月 光物性研究室カレンダー

1 / 1 (金) ~ 2 (土) 西条町 雪景色

大晦日から元旦、二日にかけて、日本列島は冬型の気圧配置に包まれ全国的に大荒れとなった。山陽自動車道の一部区間では冬用タイヤ規制がかかり、帰省ラッシュと重なり大きな混雑をもたらした。広島大学東広島キャンパスにおいても、未明からの降雪によりキャンパス一帯が雪景色となった。放射光学会と修士論文提出を控えた M2 中島は、帰省するのをあきらめ研究に精をだした。



1 / 6 (水) ~ 9 (土) 第 23 回日本放射光学会年会

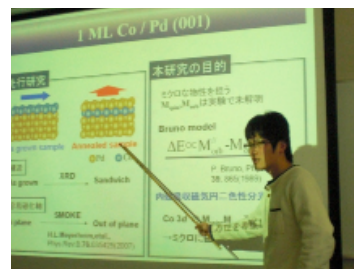
1 / 6 ~ 9 日、兵庫県姫路市イーグレひめじにおいて第 23 回日本放射光学会年会が開催された。光物性研究室からは D2 の Jiang、M2 の中島、田頭、内海が参加し、口頭発表やポスター発表を行った。



参考URL : <http://www.jssrr.jp/jsr10/>

1 / 13 (水) 修論・卒論発表者による直前発表が始まる

光物性研究室が毎年行っていることのひとつに、修士論文と卒業論文提出者による直前発表会がある。スタッフや研究室メンバーとの議論を通して論文構成を見直し、広い視野とプレゼンテーション能力を鍛えるのが目的である。今年は 1 月 13 日から 2 月 3 日までの月曜と水曜に行う。日頃の研究成果を 15 ~ 16 枚程度のスライドにまとめ口頭発表を行う。直前発表での経験を活かし、発表会本番に臨む。



編集部からのお知らせ

スタッフ募集

HB-style 企画・編集に参加していただける方を募集しています。

企画の募集

4 月号から「教えて！中島先生!!」の連載を企画しています。そこで、中島先生に教えてほしい事柄を募集します。進路相談、恋愛相談、身近な疑問・質問など何でも結構です。お気軽にお寄せ下さい。また、その他に取り上げてほしい企画やテーマも募集しています。気軽にお寄せください。

今後の企画について

「液体 He の汲み出し」、「理学部 D 棟」、「HiSOR II 計画の現状」、「Igor」、「教えて！中島先生!!」
「光物性 OB / OG に聞きました」などのトピックを考えています。

発行予定について

毎月の発行を予定していますが、作者の都合により遅延、または休刊となる場合があります。ご了承ください。

企画・編集 : 安斎太陽 (写真 右)

編集・取材協力 : 黒田健太 (左)、古本 一仁 (中央)

